東日本大震災の発生

東日本大震災：東北でM9．0巨大地震　大津波、死者・不明多数…

11日午後2時46分

押し寄せる津波にのみ込まれる住宅＝宮城県名取市で２０１１年３月１１日午後３時５５分、本社ヘリから手塚耕一郎撮影

◇宮城震度7

１１日午後２時４６分ごろ、東北地方で非常に強い地震があり、宮城県栗原市で震度７、仙台市や宇都宮市で６強、東京都心でも５強など、北海道から九州の広い範囲で震度６弱～１の揺れを記録した。気象庁によると、震源地は宮城県・牡鹿半島の東南東約１３０キロで、震源の深さは約２４キロ、地震の規模を示すマグニチュード（M）は国内の観測史上最大の８・８と推定される。津波は福島県・相馬港で７メートル以上を観測するなど、全国の太平洋側のほぼ全域に襲来、最大で１０メートル以上に達したとみられる。死者は数百人に上る可能性がある。気象庁は「三陸沖でこれほどの地震が起きるとは想定外だった」と説明している。

◇気象庁は、３度の地震からマグニチュード（M）９．０に修正した。

共同通信社